



院長の1分レクチャー21 【スマホが目撃者！】

私が働き始めたのはようやく携帯電話が普及し始めた時期です。もちろんカメラ機能はありませんでした。デジカメもびっくりするくらい高価だったのを覚えています。

ということで当時は「ブツブツが出たら写真を撮ってください」「どんな咳が出るか動画を撮りましょう」なんてアドバイスはあり得ない状況だったわけです。

あれから20年、、診断に近づくために画像や動画はとても役立ちます。特に以下の場合には正確な診断にグッと近づきます。

皮膚の変化：湿疹、じんましん

咳：咳の音、ゼーゼー、胸の動き

けいれんや意識障害

尿や便の性状：血が混じる、白っぽい、粘液がまじる

他にも気になる症状があったらスマホに記録してください。

でも、受診の時、くれぐれもスマホは忘れないように。

気になる症状を写真や動画に残しておくことで診断しやすくなる。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや
公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつかこども
クリニック